



セリグソン所長

ピッツバーグ大学は、東部においてはコーネル大学とともに米国のラテンアメリカ研究の中心の一つである。現在同大学にはLASA (Latin American Studies Association) の本部事務局もおかれている。ラテンアメリカ研究センター (Center for Latin American Studies, CLAS と略称) は、同大学の国際研究・大学センター (University Center for International Studies, UCIS と略称) の一部を構成する。UCISは国際研究、教育、公共サービス活動を行う全学的なセンターであり、学部 (Department) あるいは大学院コース (School) とは異なる。UCISのもとにはCLASの他に、アジア研究、ロシア・東欧研究、西欧研究、国際安全問題研究の各研究プログラムがある。

CLASは1964年の設立で、UCISの各センター (プログラム) のなかで最も古く、かつ最大規模のものである。CLASはUCISの設立 (1969年) 以前から存在しており、そのため他に「研究プログラム」の名で呼ばれるのに対してCLASのみは「研究センター」の名称を引き継いでいる。

CLASの専任教官はセリグソン (Mitchell A. Seligson) 所長 (政治学)、フレチオネ (John Frechione) 準所長 (Associate Director) (人類学)、クリーガー (Shirley A. Kregar) 副所長 (Assistant Director) (人類学)、セバーリョス (José V. Zevallos) 調査部長 (Director of Research) (社会学) であり、この他に18の異なる学部、大学院コースに所属する69名の「中核教官」 (core faculty) と、65名の「関係教官」 (related faculty) がCLASの研究・教育活

CLAS: Center for Latin American Studies,
University of Pittsburgh

石井 章

(中南米総合研究プロジェクト・チーム)

動に参加している。前者はラテンアメリカ研究を専門とする者、後者はラテンアメリカ地域研究者ではないが同地域に関心をもつ者である。中核教官の中にはマロイ (James Malloy) 教授 (政治学部)、メサラゴ (Carmelo Mesa-Lago) 教授 (経済学部) といった著名な名がみられる。メサラゴ教授は1980年の日本ラテンアメリカ学会創立大会で、セリグソン所長とマロイ教授は1990年の同学会第10回定期大会でそれぞれ記念講演するなど、CLASと日本のラテンアメリカ研究者との縁は深い。

CLASに直属する学生はいないが、各専門分野の学生でCLASが提供する講座を副専攻として履修した者には「ラテンアメリカ研究」の証書 (certificate) が与えられる。CLASが毎年提供する講座の数はラテンアメリカ地域研究に関するものが96、言語に関するものが94に及ぶ。

公共サービス活動としては年間50を超える公開講演会、ワークショップの開催がある。CLASはニュースレターとしてCLASicosを年2回発行している。その他にCLASが中心になって発行する雑誌として、*Cuban Studies*, *Latin American Literary Review*, *Revista Iberoamericana*, *Revista Crítica Literaria Latinoamericana* がある。

CLASおよびUCISを構成する各研究プログラムは、大学の本部棟 (Cathedral of Learning) に近いForbes Quadrangle ビルの4階を占める。隣にある図書館 (Hillman Library) はラテンアメリカ関係図書24万2000冊、定期刊行物6425タイトルを所蔵している。とくにボリビアとキューバに関する収集で知られる。ラテンアメリカ専門の司書としてロサーノ (Eduardo Lozano) 氏がいる。

連絡先: Center for Latin American Studies

University of Pittsburgh
4E04 Forbes Quadrangle
Pittsburgh, PA 15260, USA
TEL. (412) 648-7392